

令和4年2月定例会 請願審査報告書

本委員会に付託された請願は、審査の結果、次のとおり決定しましたから、徳島県議会会議規則第94条第1項の規定により報告します。

令和4年3月9日

徳島県議会議長 岩丸正史 殿

経済委員長 北島一人

受理番号	受理年月日	件名・要旨 (紹介議員氏名)	提出者 住所 氏名	審査結果	備考
17	令和4.2.9	『最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める請願』 最低賃金を抜本的に引き上げ、地域間格差をなくし、中小企業支援策の拡充を実現するため、次の事項を求める意見書を国に提出願いたい。 ① 政府は、労働者の生活を支えるため、最低賃金1,500円以上を目指すこと。 ② 政府は、最低賃金法を全国一律最低賃金制度に改正すること。 ③ 政府は、最低賃金の引上げができ、経営が継続できるように、中小企業への支援策を最大限拡充し、国民の生命と暮らしを守ること。 (山田 豊 達田良子 扶川 敦)	徳島県労働組合総連合 議長 山本 正美	不採択	

不採択の理由

受理番号	件名及び理由
17	『最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める請願』 最低賃金の引き上げに際しては、企業の経営と労働者の賃金とのバランスを保ちながら進めることが何より重要であります。 最低賃金の大幅な引き上げや全国一律制については、経営基盤が脆弱な中小企業の経営に大きな影響を与えることが懸念されるため、慎重に判断すべきだと考えます。 新型コロナウイルス感染拡大により、経済情勢や雇用環境が悪化し、業と雇用を守ることが最優先課題となる中で、最低賃金については、各地方最低賃金審議会において慎重に審議を行った上で、各都道府県労働局長により決定されるべきものであることから、御要望には沿えません。